

メールリレーサーバーCuenote SR-S をバージョンアップ エラーアドレスのリアルタイム同期で高可用リレー環境を実現

ユミルリンク株式会社(東京都渋谷区 代表取締役社長:清水 亘)は、既存のメール配信システムを高速化するリレーサーバー「Cuenote SR-S」に、複数台のサーバーで運用するクラスター構成に対応させたバージョン 2.1.0 の提供を 8 月 25 日より開始します。

メール配信を安定・継続して実現するには、配信エラーとなるメールアドレスのクリーニング(配信の除外)が重要な要素の一つです。

「Cuenote SR-S」のエラーアドレス管理機能では、配送するメールアドレスが過去に配信不能であった場合に、自動的に転送を除外し、高い配送効率を実現しております。

本バージョンでは、メールアドレス毎のエラー回数・履歴など、これまでそれぞれのリレーサーバー毎に記録していたエラーアドレス情報を全サーバー間で同期する機能を追加しました。

これにより、メール転送性能やシステムの可用性向上を目的に、リレーサーバーを増設し並列運用する場合でも、既存システムの改修や運用にかかる負担を低減しつつ、高い配送効率を実現します。

ユミルリンクは、長年の運用実績から培ったメール配信に関する専門技術をベースに、より効果的なメールマーケティングを実現するメッセージングソリューションの提供に今後も努めてまいります。

■主なバージョンアップ内容

- ・エラーアドレス管理機能がクラスター構成に対応しました。
- ・Cuenote SR-S を再起動後も過去の配信状況を確認できるようになりました。
- ・メール文書生成 API は、SMP 環境で複数の CPU を利用するようになりました。
- ・その他、改善・不具合を修正

■関連 URL

Cuenote SR-S(キューノート SR-S) : <http://www.cuenote.jp/sr-s/>

【本件に関するお問い合わせ先】

ユミルリンク株式会社 広報担当:杉浦 製品担当:五十嵐
〒150-0003 東京都渋谷区恵比寿 4-3-8 恵比寿イースト 438ビル 4F
Tel:03-6820-0515 Fax:03-5791-3262

お問い合わせフォーム: <https://www.cuenote.jp/sr-s/inquiry>

会社情報については、<http://www.ymir.co.jp> をご覧ください。